

PACS(医用画像総合管理システム)とRIS(放射線情報システム)の導入

放射線部では7月からPACS(医用画像総合管理システム)とRIS(放射線情報システム)を導入しました。

PACSとはサーバというコンピューターを用いて各モダリティで得られたデジタル画像を収集・管理・送信する役割を果たします。そのためには各デジタル画像に検査番号を振り付け、どの患者様の画像なのか区別する必要があります。この役割を果たすのがRISです。このPACSとRISの連係によって各患者様が今まで受けた検査情報や撮影された画像をパソコン上に瞬時に表示することができ、必要な時にすぐ患者様の情報と画像を得ることが可能となりました。これにより、放射線医師の読影が今までよりしやすくなり、よりよい医療を提供できるようになりました。

さらに、今後はRISとオーダーリングシステムとの接続や画像ビューアの導入によって、今まで使用してきたフィルムや依頼医からのオーダーを入力する作業がなくなるので放射線部としてはフィルム保管場所の必要性がなくなり、業務の簡略化が期待できます。また患者様にとっては検査前後の待ち時間の大幅な短縮が期待でき、これらのシステムは両者にとって有益なシステムといえます。

